

「県立奈良高校の屋内運動場の耐震化を求めること」に関する請願書

付託委員会	文教くらし委員会	紹介議員	山村 幸穂																		
<p>《要旨》 県立奈良高校では既存の屋内運動場の耐震工を行わず、木製の仮設体育館を設置する方針である。しかし各種資料を分析すると、木製の仮設体育館の決定に至る過程において適切な判断が行われていないことがわかる。一方、屋内運動場の耐震補強工を行えば、生徒の安全を確保した上で、授業や部活動を支障なく実施できる教育環境が整備できる。よって授業や部活動に大きな支障の出る木製仮設体育館の設置については見直すべきである。 効果、費用、工期や税法上の観点も含め、木製の仮設体育館の選定は不適切であり、現在未耐震である屋内運動場の早期耐震化を求める。</p> <p>以下、経緯ならびに根拠となる理由について述べる。</p> <p>①奈良高校の屋内運動場の耐震対策に至る経緯 奈良高校の屋内運動場の耐震強度不足は、平成20年1月に荒井知事に報告された奈良高校の耐震診断結果より明らかとなった。これ以降、奈良高校校長等により耐震化の要望が何度もなされ、ようやく平成27年度に耐震化費用が予算に組み込まれ、体育館の耐震設計を終え、平成27年8月にはシャワールームの色の選定や備品の移動等、具体的な工事準備にまで至っていた。 しかし、平成27年12月16月の件名「奈良高校（7-1～7-2）屋内運動場のH28工事中止について」の打ち合わせ等記録から、吉田教育長が耐震工事中止を指示している。この判断は、教育委員会での審議および決定の記録は無く、教育長の独断であったことが分かっている。 参考までに今年8月29日、葛城市の市民生活部の課長級の男性職員が、教育施設のスロープ設置工事等の決済を怠り未執行にしたことで懲戒処分されている。まさに同事例である。この判断については、文教くらし委員会ならびに県議会の適切なご対応に委ねたい。 本論、奈良高校の耐震化放置の問題は、昨年8月に奈良市の避難所指定の解除以降、マスコミによる報道が過熱し全容が明らかになった。特に、吉田教育長の耐震工事中止判断により、生徒や教職員の大切な命がさらに約4年間も危険に晒されていたことは多くの批判を呼んだ。 このように、社会問題となった奈良高校の耐震工事については、平成30年9月に発動された「奈良高校の耐震化調整権」によってようやく安全対策が進んだ。以上が経緯である。</p> <p>②耐震対策による効果 屋内運動場の安全対策の選定に関しては、学校支援課高木氏と奈良高校奥田事務長との平成30年10月10日のメールのやり取りが情報開示されている。 『体育館の代替の仮設施設について、県のイベントで利用検討している大型木製テントの利用が出来ないか検討せよと知事より指示がありました。』 『スペースについて、バレーボールコートやバスケットボールコートは確保できるが、高さが中心部以外は低すぎて適さない。』 『体を動かす運動及び球技を行う場合は10人程度が限界である』 開示された情報では「知事の指示である」、「体育館として不適当である」と記載されている。具体的な影響について、屋内運動場の大きさは1階、2階を合わせて約2000㎡、1フロアで約1200㎡であるのに対して、木製の仮設体育館の大きさは595㎡しかない。そのため、3学年が揃った活動は困難であるだけでなく、前述の通り授業や部活動に大きな影響を及ぼす。更に平成30年12月28日、奈良高校安井前校長から吉田教育長に渡された要望書には『木製の仮設体育館は容認しがたい』という内容が記載されている。つまり木製の仮設体育館では効果に問題がある。 また、平成31年2月27日の防災・県土強靱化対策特別委員会で行われた川田元議員と吉田教育長との質疑応答により、屋内運動場の耐震補強工事と木製の仮設体育館との検討状況が明らかにされた。木製の仮設体育館の選定理由については、吉田教育長が『再利用が可能である』という点を挙げられている。しかし、再利用の用途は検討中で具体的な用途が決定されていないため、税金投入の理由とはなり得ないと指摘を受けている。税法上の疑義がある。</p> <p>③耐震工事の費用 同委員会では、費用についても言及されており、屋内運動場の耐震工事費用が1.8億円に対し、木製の仮設体育館の費用は2.0億円である。従って、屋内運動場の耐震工事の方が安価であるという指摘があった。つまり、木製の仮設体育館の選定は不適切である。 尚、本委員会以降、木製の仮設体育館の設計は変更を重ねられており、費用については2.0億円を超える可能性が含まれる。</p> <p>④耐震工事の工期 平成27年8月の資料に具体的な工期が記載されており、工事着工から完了まで約5ヶ月とある。仮に今から着工すれば1月には完成し2月から利用可能となる。現在計画している木製の仮設体育館と同時期に使用可能であるため、工期は選定理由にならないものと考えられる。</p> <p>以上の通り、屋内運動場の耐震対策に係る、効果、費用、工期について比較検討を行ったが、結論として、従来通りの授業や部活動が行え、安価となる“屋内運動場の耐震工事”の方が有益であるのは明らかである。しかし、有益でない木製の仮設体育館を選定する判断が下されており問題である。（表1）これが請願理由であり、県立奈良高校の屋内運動場の耐震化を求める。</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="177 1610 268 1641">表1</th> <th data-bbox="268 1610 539 1641">屋内運動場の耐震工事</th> <th data-bbox="539 1610 898 1641">木製の仮設体育館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="177 1641 268 1765">効果</td> <td data-bbox="268 1641 539 1765">従来通りの運用が可能 ・3学年収容可 ・授業、部活動に支障なし ・木製の仮設体育館の設置 予定場所が活用できる</td> <td data-bbox="539 1641 898 1765">従来通りの運用が不可能 ・3学年収容不可 ・授業、部活動に支障あり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1765 268 1796">工期</td> <td data-bbox="268 1765 539 1796">約5カ月</td> <td data-bbox="539 1765 898 1796">約5カ月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1796 268 1845">費用</td> <td data-bbox="268 1796 539 1845">1.8億円</td> <td data-bbox="539 1796 898 1845">2.0億円+追加設計費+解体費+保管料</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1845 268 1895">選定根拠</td> <td data-bbox="268 1845 539 1895">・具体設計済</td> <td data-bbox="539 1845 898 1895">・知事の指示 ・再利用が可能（再利用の目的は無し）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="177 1895 268 1921">広さ</td> <td data-bbox="268 1895 539 1921">約2,000㎡</td> <td data-bbox="539 1895 898 1921">約595㎡</td> </tr> </tbody> </table>				表1	屋内運動場の耐震工事	木製の仮設体育館	効果	従来通りの運用が可能 ・3学年収容可 ・授業、部活動に支障なし ・木製の仮設体育館の設置 予定場所が活用できる	従来通りの運用が不可能 ・3学年収容不可 ・授業、部活動に支障あり	工期	約5カ月	約5カ月	費用	1.8億円	2.0億円+追加設計費+解体費+保管料	選定根拠	・具体設計済	・知事の指示 ・再利用が可能（再利用の目的は無し）	広さ	約2,000㎡	約595㎡
表1	屋内運動場の耐震工事	木製の仮設体育館																			
効果	従来通りの運用が可能 ・3学年収容可 ・授業、部活動に支障なし ・木製の仮設体育館の設置 予定場所が活用できる	従来通りの運用が不可能 ・3学年収容不可 ・授業、部活動に支障あり																			
工期	約5カ月	約5カ月																			
費用	1.8億円	2.0億円+追加設計費+解体費+保管料																			
選定根拠	・具体設計済	・知事の指示 ・再利用が可能（再利用の目的は無し）																			
広さ	約2,000㎡	約595㎡																			
<p>審査結果</p> <p>継続審査 <input type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input checked="" type="checkbox"/> 一部採択 <input type="checkbox"/> 趣旨採択 <input type="checkbox"/></p> <p>令和元年10月7日</p>																					